

令和8年度 桑園小学校「学ぶ力」育成プログラム

学校番号：21007

自ら課題を見付け、自ら学び、自ら問題を解決する資質・能力

「学ぶ力」	
実態	成果
	<p>◇昨年度課題として設定した「自分で計画を立てて勉強している」「振り返りを通して自分の伸びや成長を感じることがある」について、肯定的な回答が0.5～1割程度増えた。「自ら学びを進める力」に着目した取組に一定の成果が表れたと言える。</p> <p>◇全国学力・学習状況調査では、3教科とも全ての領域において全国平均を上回り、学習内容が定着していると言える結果となった。</p>
	<p>◇札幌市の共通指標の「自分が思っていることや感じていることを人に伝えている」「自分の意見を進んで発言しようとしている」の設問に対し、肯定的な回答の割合は8割を切っており、高めていく必要があることが分かった。</p>
<p>「学ぶ力」の基盤〈協働を通して磨く 相互承認の感度〉の現状と課題</p> <p>◇札幌市の共通指標の「自分にはよいところがある」や「人の役にたててうれしいと感じることがある」では、9割程度の児童が肯定的な回答をしている。昨年度に引き続き、たてわり活動などの児童会活動の充実がその高まりに寄与していると考えられる。また、昨年度から「自分が必要とされていると感じる」に対する肯定的な回答についても上方傾向にあり、今後もっと高めていきたい。</p>	
<p>「学ぶ力」の育成のために着目する資質・能力</p> <p>「一人残らず、学級全員がたのしいと感じる授業」を通して培われる「自ら学びを進める力」</p>	
取組	課題探究的な学習の推進 に向けて
	<p>子どもの主体性を引き出す工夫（イントロダクション）や、探究を深めるための「振り返り」の高度化に取り組む。特に、「振り返り」は<u>学びの軌跡を捉え直すことを意識し、単元を通じた蓄積を目指す</u>。1時間ごとの「点」の振り返りではなく、同一単元内の記録を一箇所にまとめるなど、自分の変容を「線や面」で捉え、成長を実感させる工夫をしていく。子どもがアウトプットする活動を保障し、自分の考えを表現する力を伸ばしていく。</p>
	<p>「仲間との協同活動を通じた自主的・実践的な態度の育成」を掲げ、児童の自治的な活動を推進する。委員会活動では、端末を活用した「委員会ノート」で活動を記録・共有しながら、よりよい学校生活の創造に取り組む。体育帽子を学年カラーにすることで、異学年の交流がしやすいような環境整備を行う。また、<u>学校便りに委員会や学年の発信コーナーを設け、児童による情報発信を奨励</u>していく。</p>
<p>「学ぶ力」の育成の一層の充実を図る ICTの活用について</p> <p>◇指導案の共同編集を行う。Google スライドを用いた指導案作成により、教員間での対話や授業準備を効率化し、より本質的な授業検討に時間を割けるよう体制を整える。</p> <p>◇「振り返り」のデジタル化による変容の可視化単元を通じた振り返りの蓄積を行う。1時間ごとの「点」の学びではなく、Google スライド、スプレッドシート、オクリンクプラス、FigJam等のツールを活用し、同一単元内の振り返りを一箇所に蓄積していく。</p>	

<本プログラムの実行に向けて>

